



様式4

25.3.26

平成25年3月26日

都道府県知事 河野 俊嗣 殿

一般社団法人みやざき公共・協働研究会

代表理事 原田 隆典



新しい公共支援事業に関する報告について

新しい公共支援事業について、以下のとおり支援の成果及び自己評価等を報告する。

1. 報告者の位置づけ

- 支援対象者（活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援）
- 支援対象者（つなぎ融資への利子補給）
- 事業実施主体（新しい公共の場づくりのためのモデル事業）
- 事業実施主体（社会イノベーション推進のためのモデル事業）
- 都道府県から業務を受託した中間支援組織等

2. 新しい公共支援事業に係る成果

様式4-5を参照。

3. 添付書類

- (1) 2において参照する様式及び別紙
- (2) その他参考となる書類

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 寄附を受ける側の情報力・ノウハウ・スキルアップによる寄附体制の整備促進
事業の種別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他(複数回答可)
受託者名	一般社団法人 みやざき公共・協働研究会
実施期間	平成24年5月18日～平成25年3月22日
受託金額	3,000,000円
受託内容	<p>寄附を受けるNPO等の受入体制の整備、寄附者とNPO等とを結びつける仕組みづくり及び地元企業等のNPO等に対する理解の促進を図るため、次の事業を実施した。</p> <p>(1) 専門家派遣による個別指導</p> <p>今年度は、ファンドレイジングの知識や経験を有した専門家のネットワークづくりとして専門家登録と派遣(指導件数目標:年間10件)を実施することとしている。</p> <p>6月30日に実施された、准認定ファンドレイザー(日本ファンドレイジング協会認定)資格試験で宮崎県から2名(濱門康三郎、黒岩雄二)が受験し、資格を取得したため(全国の合格者183名)、専門家名簿を作成し、個別指導体制を整備した。</p> <p>【派遣実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月19日 13:30～15:00 NPO ホームホスピス宮崎 [内容] 認定NPO取得に向けてのアドバイス ・10月22日 19:00～20:00 NPO ホームホスピス宮崎 [内容] 認定NPO取得に向けてのアドバイス ・11月2日 18:30～20:00 NPO ホームホスピス宮崎 [内容] 講演会にて認定NPOの説明依頼 <p>【来訪相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月18日 10:30～12:00 かいず様 [内容] NPOの設立に向けてのアドバイス ・10月24日 10:00～12:00 田中健治様 [内容] NPOの設立に向けてのアドバイス ・10月25日 13:00～15:00 NPO フロム・エム [内容] NPOのファンドレイジングについて ・11月14日 9:10～9:40 NPO ホームホスピス宮崎 [内容] 認定NPOと賛助会費について ・11月14日 9:10～9:40 NPO ホームホスピス宮崎 [内容] 認定NPOと賛助会費について ・12月11日 13:00～15:00 島山容子様

[内容] 高齢者福祉系の NPO 設立について

- ・1月19日 17:00~18:00 矢方美幸様

[内容] NPO の設立に向けてのアドバイス

- ・1月30日 13:00~16:00 第4回ひむか協働商談会にて相談ブース開設

【相談者】 キャンサーヘルプネット宮崎：NPO 設立について

NPO アースウォーカーズ：資金調達について

NPO みやざきママパパハッピー

宮崎公立大学 学生保育サポーター

NPO みやざき その他

- ・2月1日 11:00~12:00 飯地正浩様

[内容] NPO 設立について→県協働推進担当を紹介

- ・3月8日 11:00~12:00 長倉義治様

[内容] NPO との連携について→寄付付き商品の開発アドバイス

- ・3月12日 電話相談：おがたいさむ様

[内容] NPO の設立について

- ・3月19日 11:00~12:00 連合宮崎 蛭原様

[内容] NPO との連携について

以上、20件程度の相談を受けた。相談内容としては、NPO の設立、認定 NPO の取得、資金調達についてが多かった。

(2) 寄附募集の方法等に関する研修

今回は、認定 NPO 法人に期待されるファンドレイジング（寄付集め）をテーマに研修を計画し、10月19日に「新時代のファンドレイジングとは！+協働交流会」という研修会を開催した。

[内容]

国内外のファンドレイジング（寄付集め）事情に詳しく地方（高知県）でファンドレイジングを実施している東森歩氏に「NPO と企業のコラボのノウハウ」「最新ファンドレイジング事例」について講演していただいた後に、パネルディスカッション形式で、宮崎県内で認定 NPO 法人を目指している2団体の代表に、現在の活動と認定を目指す理由やファンドレイジングの課題等を発表してもらった。

また、コメンテーターとして東森氏に参加していただき、また福岡で自主事業によるファンドレイジングに成功している井手修身氏にゲストパネラーとして参加いただき資金調達についてのアドバイスをもらった。

また、別室（市民プラザ中会議室）に NPO や企業の活動紹介ブースを設け、協働交流会場とした。

[日時] 10月19日（金） 13:30~16:00

[場所] 宮崎市民プラザ大会議室

[講師] 認定 NPO 法人 NPO 高知市民会議専務理事 東森 歩氏

[パネラー] NPO 法人アイデア九州・アジア理事長 井手修身氏（ゲスト）

NPO 法人笑福会理事長 竹内和広さん

NPO 法人ホームホスピス宮崎 市原美穂さん

[進行] 一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：34名

アンケート回答者：18名

協働交流ブース展示：NPO9団体／企業3社／その他3団体

研修会については、昨年度は土曜日に実施したが、「平日の方が参加しやすい」という意見がみられたため、今年度は金曜日に実施することとし、1ヶ月以上の告知期間も設けた。しかし、他のイベントやNPOの行事などと重なり、思ったほど参加者数は伸びなかった。

ただし、参加者からは大変良かったという声が多数聞かれ、ほとんどのアンケート回答者が「参考になった」と回答しており、研修の目的は達成されたと感じた。

アンケートで「良かった点」を聞いたところ、「話の組み立てが良く工夫されていた」「素晴らしい講演・シンポジウムだった」「企業へのアプローチの仕方や地域のニーズに気づくことなど参考になった」「内容がリアルで具体的な事例も多く良かった」「パネラーの話に感動した」「県内で認定を目指す法人と県外の認定理事長、企業社長のやりとりが良かった」など具体的な感想をいただいた。

また、今後への期待として、「分野を絞ってテーマを設定して欲しい」「小さな成功事例を作るワークをして欲しい（→社会貢献コーディネーター養成講座に連携）」「企画の作り込みの方法論を学びたい」等が挙げられた。

昨年度は、NPO制度の改正直後であったため、知識を得るための研修会の要素が大きかったが、今年度は新制度施行後の研修会であったため、より具体的で実効的なノウハウを提供する研修会とすることができ、参加者の期待に応えられたと感じた。

また、交流ブースでもパンフレットやサンプル商品の提供等を行い、講演やシンポジウムの合間に活用された。

◎ファンディング勉強会

以下の日程で、ほぼ2ヶ月に1回程度開催した。

6月30日に実施された「第1回准認定ファンディング認定試験」に向けて、受験者で勉強会を開いた。

【第1回】

〔日時〕6月25日（月）13:00～15:00

〔場所〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 事務局

〔進行〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：2名

【第2回】

(6)の「社会貢献コーディネーター養成講座」のフォローアップ研修に合わせて開催した。

〔日時〕10月6日（土）10:00～12:00

〔場所〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 事務局

〔講師〕ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏

〔進行〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：5名

「参加をつなぎカタチにする」事例づくりをテーマにして、現在NPOを目指してい

る団体（レーヴ）の計画策定をフォローする形で実施した。

【第3回】

「ファンドレイジング勉強会」第3回

上と同様に「社会貢献コーディネーター養成講座」のフォローアップ研修に合わせて開催した。

〔日時〕12月1日（土）16:00～17:00

〔場所〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 事務局

〔進行〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：3名

【第4回】

「ファンドレイジング勉強会」第4回

上と同様に「社会貢献コーディネーター養成講座」のフォローアップ研修に合わせて開催した。

〔日時〕1月26日（土）13:00～13:30

〔場所〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 事務局

〔進行〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：17名

【第5回】

「ファンドレイジング勉強会」第5回

上と同様に「社会貢献コーディネーター養成講座」のフォローアップ研修に合わせて開催した。

〔日時〕3月16日（土）13:00～13:30

〔場所〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 事務局

〔進行〕一般社団法人みやざき公共・協働研究会 黒岩雄二

〔結果〕参加者：17名

(3) 寄附の先進事例の収集とNPO等への情報提供

9月21日に、事務局の黒岩が福岡に出張し、福岡NPO支援センターおよびNPO法人アイデア九州・アジアに訪問して動向調査した。

9月27日に事務局の黒岩が東京に出張し、ファンドレイジング協会主催の「NPOのリスクマネジメント」についてのセミナーに出席し、事務局長の徳永洋子さんに最新事例、動向についてヒアリングし、資料を収集した。また、翌28日にクラウドファンディングの国内第2位である「READY FOR?」の米良はるか社長に面会し、クラウドファンディングの最新動向をヒアリングし、資料を収集した。

上記の調査出張で得られた情報にインターネット、書籍等で調査した情報を加えて100冊（48ページ）の冊子として制作し、研修会で配布した。

3月9日、10日に事務局の黒岩と出水が、東京で開催されたファンドレイジング・日本2013に出席し、最新情報を収集すると同時に、専門セッションのひとつである「オフィスがなくても寄附は集まる！クラウド事務局のファンドレイジング」（NPO法人マドレボニータ）の司会を黒岩が担当した。収集した最新情報については、3月16日に開催した「第4回社会貢献コーディネーター養成講座」において報告し、参加者と共有した。

その他、7月3日のMRTラジオ「ボランティアワールド」に出演して認定ファン

ドレイザー試験の紹介や勉強会の案内をしたり、当研究会のホームページで各種案内等を実施してきた。

(4) 地元企業等への説明会の開催

10月19日のNPO向け研修会に合わせて、企業向けセミナー「企業のソーシャルマーケティング」を実施し、NPOを取り巻く環境の説明と、企業がNPOと協働するメリットなどを説明した。

[日時] 10月19日(金) 16:00~17:00

[場所] 宮崎市民プラザ大会議室

[講師] 認定NPO法人NPO高知市民会議専務理事 東森 歩氏

[結果] 参加者：9名

アンケート回答者：2名

アンケートへ回答者は少なかったが、「大変参考になった」「企業でも役に立つノウハウであった」「NPOのファンドレイジングが良く分かった」などの意見をいただいた。また、研修後の懇親会にも企業から6名の参加があり、交流が深められた。

(5) チャリティイベント等の開催

今年度開催した「社会貢献コーディネーター養成講座」全4回の全てにおいて、寄附イベントのひとつである「パブクイズ」のデモを行い、参加者に体験してもらった。参加者からは、「楽しくて寄附集めができる取り組み易い手法」という感想をいただいている。

また、11月2日にNPO法人ホームホスピス宮崎が主催し、当研究会が連携して開催した講演会「ケアする人のためのスキルアップ講座2012」においてホームホスピス宮崎への寄附募集と賛助会員の募集をサポートし、参加者に対して認定NPOの説明とそれを目指す意義について説明を行った。

3月2日に開催された1500人参加のイベント「みやざきバルウォークはるバル」に企画実行委員として参加し、「みらいちゃんを救う会」の募金とタイアップの予定で準備をしていたが、調整が間に合わず断念した。

行事ではないが、NPOに対する寄附モデルとして、企業の相談を受けてNPO向け寄附付き商品の企画を行い、実施に向けてサポートを行ってきた。具体的には、調理器具の価格に寄附分を確保し、その器具の購入により、指定したNPOの具体的な活動に寄附されるというものである。25年4月からの商品化に向けて準備中である。

(6) 中間支援組織等の専門家の育成

・社会貢献コーディネーター養成講座

社会貢献コーディネーター養成講座「参加をつなぎカタチにする」を4回にわたって実施した。

[内容]

昨年度も1回開催して好評であった社会貢献コーディネーター養成講座「参加をつなぎカタチにする」(ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏)を今年度は3回の連続講座として開催し、具体的な「カタチ」づくりを目指すこととした。また、この講座を基にして生み出された事例の実施者を今後ファンドレイジングの専門家として専門家名簿に登録する計画である。

当初3回の予定であったが、参加者の満足度が非常に高く、具体的な事例に結びつけるために計4回実施した。

【第1回】

【日時】 10月5日（金） 13:30～16:30

【場所】 宮崎市民プラザ大会議室

【講師】 ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏

【結果】 参加者：22名

アンケート回答者：13名

アンケート回答者の意見として、「参考になった」が12名、「どちらとも言えない」が1名で、「参考にならなかった」は無かった。

また、良かった点として「スタートアップの基本が分かった」「講師が良かった」「ポイントが分かった」「ビジネス的視点が大事だと分かった」「立ち上げ準備に参考になった」「必要なスキルだと思った」という点が上げられた反面、「具体策がよく分からない」という意見も1件見られた。他の意見として、「小口寄付のイベント企画が有れば参加したい」「サービス料金を設定するとき寄付額を盛込めるか」などが挙げられた。

また、具体的に1団体（レーヴ）が「参加をつなぎカタチにする」事例の実現候補に上がり、フェイスブック等でフォローしてきた。

<http://www.facebook.com/groups/sanka.katachi/>

【第2回】

【日時】 12月1日（土） 14:00～16:30

【場所】 宮日会館 10F 第3会議室

【講師】 ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏

【結果】 参加者：38名

アンケート回答者：26名

この回は、宮崎日日新聞に開催の広告を掲載し、参加者を募ったところ早々に予定人数に達した。参加者の1/3が知人からの紹介、また1/3が新聞を見て参加したという結果であった。

アンケート回答者の意見としては、「参考になった」が25名、「どちらとも言えない」が1名であった。

また、良かった点として、「NPOの利益の考え方が分かった」「チャレンジしたい」「1回目に頭に入ったことが2回目ではっきりした」などが挙げられた。

回終了後に交流会を開催し、参加者同士の交流を図った。その結果、参加者同士の勉強会が発足し、具体的にNPO法人フロム・エムの「健康食堂」づくりを支援するグループができ、フェイスブックでフォローする動きができた。

<http://www.facebook.com/from.miyazaki>

【第3回】

【日時】 1月26日（土） 10:30～14:30

【場所】 みやざき公共・協働研究会事務所 会議卓

【講師】 ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏

【結果】参加者：17名

アンケート回答者：16名

内容としては、具体的に各自が「参加のカタチ」を組み立てる演習形式で行った。

アンケート回答者は、全員が「参考になった」と答えている。

また、良かった点として、「参加者の当事者性に合わせた内容だった」「明確になった」「活動に参加を募るヒントになった」「是非また開催して欲しい」などが挙げられた。また、意見としても「再度参加したい」という意見が多数あったので、第4回も検討することとし、3月16日に開催することとした。

【第4回】

【日時】3月16日（土） 10:00～15:30

【場所】みやざき公共・協働研究会事務所 会議卓

【講師】ソーシャルライフ・ラボ代表 田中 康文氏

【結果】参加者：17名

アンケート回答者：13名

今回も具体的に各自が「参加のカタチ」を組み立てる演習形式で行った。

アンケート回答者は、今回も全員が「参考になった」と答えている。

意見として、「自分のやりたいことが確認できた」「人のつながりによって目的を達成できると思った」「カタチの具体的なイメージができた」などが挙げられた。

また、具体的に「ファンドレイジングの講座を受けてみたい」「認定NPOの報告会」を開催して欲しい」等の意見をいただいた。

この講座を通して、参加者が各自の活動やNPOの資金獲得の支援に積極的に関わる姿勢を見せていただいたことから、今後の県内のNPO活動支援の一助となることが期待できる。

各講座の参加者については名簿を作成しており、今後の支援ネットワーク生かしていきたいと考えている。

【准認定ファンドレイザーの養成】

(1)項にも記述したとおり、6月30日に実施された、准認定ファンドレイザー資格試験に向けて勉強会等を開催し、宮崎県から2名（濱門康三郎、黒岩雄二）が受験して資格を取得した。今年度中に3名を目標にしていたが、東京で行われる認定研修を複数回受講しなければ受験資格が得られない、認定試験が東京でしか行われない（6月、12月）、等の厳しい条件のため今年度は2名の合格者にとどまった。

しかし、当研究会が本事業により実施した複数の研修会に参加されたNPO法人笑福会の竹内氏が、認定研修を受講し、ファンドレイジング日本・2013にてセッション（疑似私募債徹底解説）の司会を務めるなど、実質的なファンドレイザーとして活動を始めている。

(7) その他NPO等の寄附の受入体制が整備される企画

NPOファンド等中間支援システムのモデル構築に関して、地方（宮崎県）での実現方法等を考察した。その結果、資金調達の中間支援システムを地方発で構築するには課題も多いことが明らかになり、まずは資金調達のためのイベント等を支援する仕組みについて提案することとした。ホームページでその内容をダウンロードで

	<p>きるようにしている。その結果に連動して、モデルとして参加応援システム（ホームページ）「ekomo みやざき」を構築してきた。詳しくは、添付資料を参照。</p>
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家派遣による個別指導については、准認定ファンドレイザー 2 名を専門家として名簿登録することができ、年間 10 件の指導目標に対し、来訪指導も入れて 20 件程度の実績が上がっている。内容としては、NPO 設立、認定 NPO の取得、資金調達が多かった。寄附付き商品に関する企業からの相談もあり、具体的な企画に進展した。 ・ 寄付募集の方法等に関する研修については、時期的なこともあり想定よりも参加者数が少なかったが、講師に福岡や高知といった地方で活躍している人材を選択したことで、より身近で現実的な内容としてとらえていただくことができ、参加したほとんどの方に満足してもらえる内容となった。 ・ 寄付の先進事例の収集と NPO 等への情報提供については、日本ファンドレイジング協会の徳永洋子事務局長へのヒアリングや昨今注目を浴び急激に利用者数が伸びている「クラウドファンディング」の第一人者、米良はるか氏へのヒアリングなどによって資料収集を行うことができ、研修会等で参加者に情報提供することができた。また、国内最大の寄附に関するセミナーイベントである「ファンドレイジング・日本 2013」への参加によって、最新の情報を調査することができたと同時に、個別セッションの司会も行い、ネットワークづくりもできた。また、そこで得られた情報を中間支援の専門家育成講座などで共有することができた。 ・ 地元企業への説明会については、昨年度同様、NPO 向け研修会と同時開催し、NPO 向け研修にも参加していただくことで、理解を深めてもらうことができたと感じている。ただし、参加企業が少なかったため、今後のフォローについて検討中である。 ・ チャリティイベント等の開催については、各講座の中で「パプクイズ」のデモを行い、参加者に手軽な寄附イベントの手法を体験してもらった。また、イベントではないがチャリティ付き商品の開発支援を行い、企画が完成した。 ・ 中間支援組織の専門家の育成については、社会貢献コーディネーター養成講座の受講者の中から具体的に事例を作る動きが出てきた。また、上記のとおり、准認定ファンドレイザーの資格取得者が 2 名誕生したため一定の成果を出すことができたと感じている。 ・ その他 NPO 等の寄附の受入体制が整備される企画については、寄附の中間支援システムの構築に関する考察を行い、その結果と連動した「参加応援システム」のモデル構築を行ってきた。これは、既存のサイトの改良版として行う予定であったが、調査・検討の結果、ほぼ新規に企画し直す形となったものであり、基本機能の開発は終了しているが、公開については新年度の初頭になる見込みである。
<p>評価ラ ンク</p>	<p>□S：特に優れた成果が得られた □A：優れた成果が得られた ■B：一定の成果が得られた □C：限定的であるが成果が得られた □D：成果が得られなかった</p>